

## 令和3年度第三セクター経営評価結果及び対応について

## 公益財団法人青森学術文化振興財団

## 1 令和3年度 経営評価

評価項目	目的適合性	効率性・効果性	組織運営の健全性	財務の健全性	透明性	自立性
第一次評価 (法人)	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好
第二次評価 (所管部局)	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好
第三次評価 (評価委員会)	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好

すべての項目において「概ね良好」という結果となっている。

## 【青森市第三セクター経営評価委員会による意見等】

総括的な所見：資産運用収入の範囲内で各種助成事業等が実施されており、法人運営の安全性は確保されている。引き続き、資金の管理運用においては、常に検証を行い、適切な運用を進めていくことを期待する。

※参考 令和2年度決算

■当期損益 9,236千円 累積損益 286,518千円

■市からの収入 なし

## 2 第三セクターの対応

## ◆経営戦略プラン(R1～R3)の取組と計画

平成30年度に策定した経営戦略プラン（計画期間：令和元年度～令和3年度）に基づき、設立目的達成に向けた取組を継続していく。

## ○具体的取組

- ①大学等の地域還元への支援の継続実施
- ②資産運用方針の見直し等による経営安定
- ③職員の資質向上及び法人内部の知識蓄積

○財務計画：収支相償が求められているため、基本的に当期損益は0円が目標

## 【取組状況】

令和3年度については、経営戦略プランに基づき、大学等による地域還元への支援を行うとともに、資産運用による事業費の確保により、安定的な経営に努めている。

令和4年度以降についても、資産運用による安定・継続した事業費・運営費を確保しながら、効率的・効果的な事業実施に努めていく。

## 3 市の対応

財団が実施する学術研究事業の懸賞論文については、応募件数の増加に向け、応募テーマの見直しやテーマ数を増やすなど、応募しやすい環境を構築するよう指導している。

また、資産運用収入の範囲内で事業を実施している財団であることから、今後も計画的な資産運用による健全経営の継続と、効率的・効果的な事業実施を促していく。